

**製品名:** アリールスルファターゼ F ウサギポリクローナル抗体

**カタログ番号:** APRab07185

研究使用のみ

## 概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	人間、猿
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

## 応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:20000-1:40000
分子量	60kDa

## 抗原情報

遺伝子名	ARSF
別名	ARSF; Arylsulfatase F; ASF
遺伝子 ID	416.0
SwissProt ID	P54793
免疫原	抗血清はヒト ARSF 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 301-350

## 背景

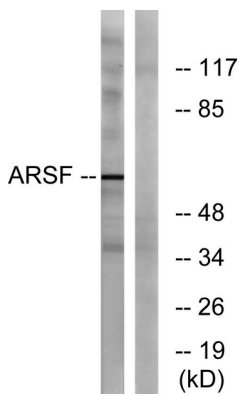
この遺伝子はスルファターゼファミリー、より具体的にはアリールスルファターゼサブファミリーに属します。このサブファミリーのメンバーは配列とスプライス部位において類似性を有し、X染色体上にクラスターを形成していることから、近年の遺伝子重複に由来

することが示唆されます。スルファターゼは骨および軟骨基質の適切な構成に不可欠です。アリルスルファターゼ Eとは異なり、このタンパク質の活性はワルファリンによって阻害されません。同じタンパク質をコードする、複数の選択的スプライシング変異体が特定されています。[RefSeq 提供、2011 年 1 月],補因子:サブユニットあたり 1 個のカルシウムイオンを結合します。、酵素調節:DHEAS またはワルファリンによって阻害されません。、PTM:原核生物のセリンまたはシステイン残基、および真核生物のシステイン残基の 3-オキソアラニン (C-ホルミルグリシン、FGly と呼ばれる) への変換は、触媒活性にとって重要です。、類似性:スルファターゼファミリーに属します。、

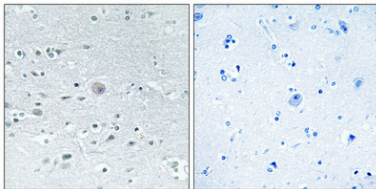
## 研究分野

-

## 画像データ



ARSF 抗体を用いた COS7 細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高圧高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。